

皆様のお声を伺い議論を深めて実現します



小川村の被災現場にて



大田市消防団の操法大会を激励



支援者の皆様と懇談



白馬村の岩岳で馬と遭遇



子ども祭りにて



須々岐神社の御船祭りにて



ALPS 処理水の検査機関を訪問



ポーランドにてウクライナからの避難民の方々との意見交換



河野大臣を松本に迎えて講演会を開催



自転車振興議員連盟青空総会にて



与那国島町長とシェルター議連で懇談



長野県知事と与党議員との懇談会

【発行数 331 号】メルマガで様々なメッセージを発信中

最新号はこちら www.mutai-shunsuke.jp

メルマガの申し込みは office@mutai-shunsuke.jp まで

あなたの声をお聞かせください。
政策や日本の未来を語り合しましょう。
ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

【自由民主党長野県第二選挙区支部】
 住所:長野県松本市白坂2-3-30 大永第3ビル101
 TEL:0263-33-0518 FAX:0263-33-0519
 mail:office@mutai-shunsuke.jp

【国会事務所】衆議院第一議員会館403号室
 住所:東京都千代田区永田町2-2-1
 TEL:03-3508-7334 FAX:03-3508-3334



務台 しゅん すけ

むたい俊介

ニュース 衆議院議員



山・里・人を元気に!

ごあいさつ

2023 年の通常国会では、憲法や環境など様々な課題に具体的に取り組むことができました。EU 議会議員の皆様との対話などの活動も行いました（本誌メッセージ参照）。これからも、最低賃金や地元の予算確保、事業推進のためにしっかりと答えがだせるように活動して参ります。

衆議院議員 務台 俊介



▲日本・EU 議員会議にて (仏・ストラスブール)

活動をご紹介します

現場主義!

災害が多発する昨今、すぐに現場に駆け付け、必要な支援を行います。その後の復旧もしっかりフォローすることを大切にしています。



長野市中条の被災現場にて

地元課題を解決

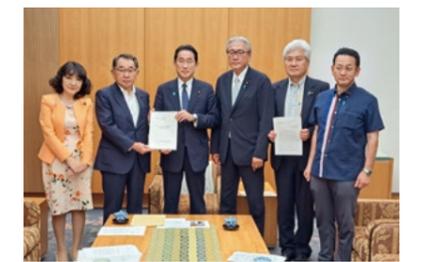
道路や、災害防止のための公共事業など地域の方々の安心、安全のためにインフラ整備が必要です。地域の行政と協力して、与党としてしっかり対応して参ります。



上高地に西村環境大臣、臥雲市長をお招きして意見交換

議連で、皆様の声を政策に

皆様から直接伺った声を、議員連盟で議論して法律や予算にしています。新しい議連も次々と立ち上げています。



シェルター議連で総理に提言

日々の活動を web で公開中

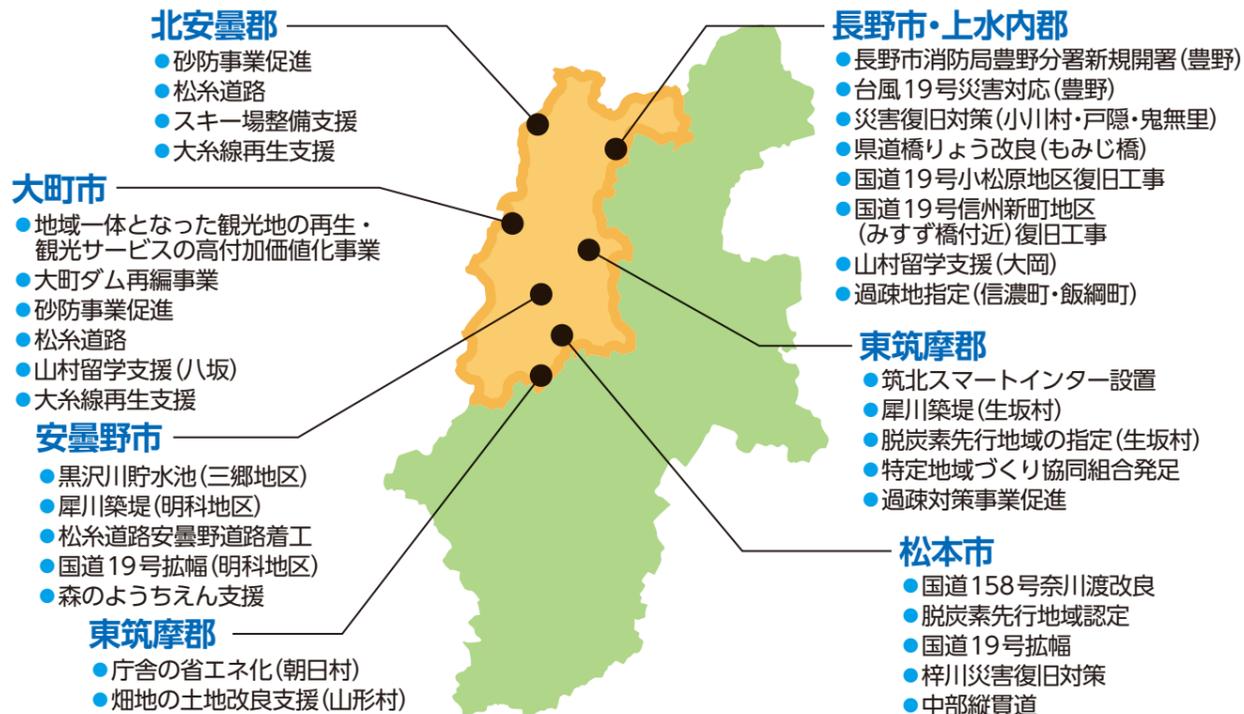
ホームページ www.mutai-shunsuke.jp

公式 Twitter @mutaishunsuke

facebook <https://www.facebook.com/mutai.shunsuke>

YouTube QRコードからアクセス または YouTube ムたい俊介 で検索 チャンネル登録 をクリック! *要アカウント作成

各地域でみなさまのお声を実現させています



現在までの主な役職を紹介します (2023年8月 現在)

- 【衆議院】**
 - 環境委員会 理事
- 【党役職(自由民主党)】**
 - 環境部会長代理
 - 憲法改正推進本部 幹事
 - 国際局 次長
 - 広報本部広報戦略局 次長
 - 過疎対策特別委員会 事務局長
 - 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(新過疎法)を成立(R3)
 - 雇用問題調査会 幹事
 - 子どもの元気!農山漁村で育むPT 事務局長
 - 環境・温暖化対策調査会 事務局長代理
 - 中央政治大学院 副学院長
- 【その他】**
 - 長野縣護國神社 総代会長
 - 一般財団法人全国山の日協議会 副会長・理事
- 【議員連盟】**
 - 超党派「山の日」議員連盟 事務局長
 - 国民の祝日「山の日」の制定法を成立(H26)
- 日本ウクライナ友好議員連盟事務局長(マルタ、ソロモン議連も事務局長)
- わさび振興議員連盟 事務局長
- 自由民主党水道事業促進議員連盟 事務局長
- 自由民主党木質バイオマス・竹資源活用議員連盟 事務局長
- 最低賃金一元化推進議員連盟 事務局長
- 茅草き文化伝承議員連盟 事務局長
- 森のようちえん振興議員連盟 事務局長
- 自由民主党ウィンタースポーツ&リゾート議員連盟 事務局長代理
- 自転車活用推進議員連盟 事務局長次長兼自転車活用PT座長代理
- 自転車活用推進法を成立(H28)
- 人口急減地域対策議員連盟 事務局長次長
- 特定地域づくり事業法を成立(R1)
- 捕獲鳥獣食肉活用推進議員連盟(ジビエ議連) 事務局長次長
- 自由民主党消防議員連盟 事務局長次長
- 消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律を成立(H25)
- 自由民主党再生可能エネルギー普及拡大議員連盟 副幹事長
- ワーケーション推進議員連盟副幹事長
- 日本建設職人社会振興議連
- 建設工事従事者安全確保法を成立(H28)

著書を紹介いたします

代議士生活10周年の節目に、これまでの政治活動を振り返り「アフター・コロナ」の新しい社会の在り方を見据えた、政策実現の土台となる思いを綴りました。ぜひご覧ください。

(時事通信社より出版)

むたい俊介プロフィール

昭和31年(1956年)安曇野市(旧三郷村)生まれ、大町市・旧豊科町で育つ。豊科中学・松本深志高校卒業

昭和55年 東京大学法学部卒業後、旧自治省入省、地方分権推進委員会参事官、総務省消防庁防災課長、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任

平成21年 衆議院議員選挙に初挑戦

平成22年 神奈川大学法学部自治行政学教授を務める

平成24年 第46回衆議院議員選挙で長野県第二区にて初当選

平成28年 8月から平成29年3月 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官

令和3年 第49回衆議院議員選挙で4回目の当選

令和3年10月から令和4年8月 環境副大臣 兼 内閣府副大臣

Message メッセージ

自民党長野県第二選挙区支部長 衆議院議員 務台 俊介

EU議会、ウクライナ避難民、アウシュビッツ ~戦争により人間の運命が左右される現実~

〔7月12日から15日まで、EU議会の招きによりフランスのストラスブールにあるEU議会を訪問し、第41回日本・EU議員会議において皆様との意見交換を行ってきました。〕

船田元代議士を団長に衆参両院国会議員で日本とEUの共通課題について意見交換を行うこの会議は、日EUの政府同士の意見交換と並行し、議会同士の意見交換の場として意義を有する会合だと改めて感じました。私はEU議会との意見交換の後、ポーランドに赴き、ポーランドに避難しているウクライナ避難民の皆様との意見交換、アウシュビッツ訪問を行いました。その折にもEU議会での意見交換を踏まえた対応ができたことは意義があったと考えています。

初日の12日には、EU議会との意見交換に先立ち、ストラスブール総領事館で内田総領事からEU政治の現状の説明を受け、マカリストEU議会外務委員長、ランゲ国際貿易委員長との意見交換を行いました。EUとしても同志国(like-minded people)日本との戦略的連携を重視していく姿勢を強く感じる事が出来ました。マカリスト外務委員長からは、ロシアのウクライナ侵略以来ドイツの極左平和政党ですら欧州のウクライナ軍事支援に沈黙しているとのコメントがあり、現状の世界は理想的なあるべき姿の「pony farm」ではなく19世紀的領土拡張の野望に満ちた独裁国家が存在しているとの認識を改めて承りました。代表団の一員の小野寺五典代議士からは、中国軍基地からロシア爆撃機が飛び立ち我が国周辺を威圧している現状をEU議会側に伝えるなど、ロシアと中国の連携について警戒を強めるべきとの観点をしっかりと伝えました。私からは中国政府がプロパガンダ攻撃をしているAlps処理水へのEU諸国の公平な評価を改めて要請しました。

12日の午後、EU議会でEU議員の皆様と、最近の社会経済情勢、ウクライナ侵略、東アジアの安全保障環境について忌憚のない意見交換を行いました。緑の党に属するEU議員の皆様も、EUによるウクライナ軍事支援の必要性をはっきりと是認していましたが、この点では、日本のウクライナ支援方策の制約との差異を改めて感じました。

13日午前中にはEU議会との2日目の会合に臨み、AIの利用と制御、環境・エネルギー、物価上昇対応、日EU貿易について意見交換を行い、12日の議論も踏まえ、二日間にわたる議論の成果を踏まえた共同声明を発出しました。

偶然ですが、ストラスブールでの日EU議員同士の会談と並行し、ブリュッセルでは岸田文雄総理が出席した日EU首脳会議が開催されました。行政レベルの会合と議会同

士の会合が並行して行われることで日EUの関係が重層的に深まることを期待しています。EU議会の皆様とストラスブール市内の古民家レストランで夕食を共にする機会もあり、個人的な関係も深めることが出来たことも収穫です。



▲アウシュビッツ収容所の入口にて

14日はポーランドのワルシャワに飛び、午前中、ポーランド下院議員で日ポーランド友好議員連盟会長のノヴァツカ氏、グラバルチェク会員と日ポーランド関係について意見交換の後、ワルシャワ市内のウクライナ・ハウスを訪問し、6名のウクライナ避難民の皆様のお話を伺いました。そのうちのお一人は戦争で夫を亡くし母子家庭の境遇とのことでした。全員が女性で、子供の教育、住居問題が切実との話に聞き入りました。その際に、避難民の皆様に、在日ウクライナ人との交流もある朝日村で栽培しているピーツ(ウクライナ料理のボルシチの材料)をお渡し、朝日村の皆様からの激励メッセージをお伝えしました。

その日の午後、ワルシャワのユダヤ人歴史博物館を見学し、ワルシャワのゲッソーの壁の遺構も訪問し、ポーランドのユダヤ人の歴史と苦難を学びました。そしてワルシャワから車で3時間半かけて古都クラコフに到着し、翌15日にアウシュビッツ収容所を視察しました。特にガス室の中では非常な緊張感を覚えました。アウシュビッツ収容所の入口の「アルバイト マハト フライ(働けば自由になる)」の表示板前の白樺は、ここを出入りするユダヤ人収容者をずっと見つめてきたとの話でしたが、長野県の県木が白樺であることから不思議な感情移入に襲われました。

更にビルケナウ収容所(アウシュビッツ第2収容所)も訪問しました。ビルケナウ収容所のガス室は終戦直前にナチスが破壊し、残骸がそのまま残されていました。アンネの日記の作者アンネ・フランクもここに収容されていたとのことでした。実は、当時米軍もガス室の存在を把握し、その証拠の航空写真の展示も拝見しましたが、当時の米軍は戦争遂行を優先し、ユダヤ人の救出は戦争が終わってからのことでした。

EU議会との意見交換、ウクライナ避難民の皆様との意見交換、アウシュビッツ訪問を経て、戦争という人間の愚かな行為により、実に多くの人たちの運命が劇的に変わってきたこと、変わっていくことに関して、今日的視点でいろいろ考えさせられる訪問となりました。